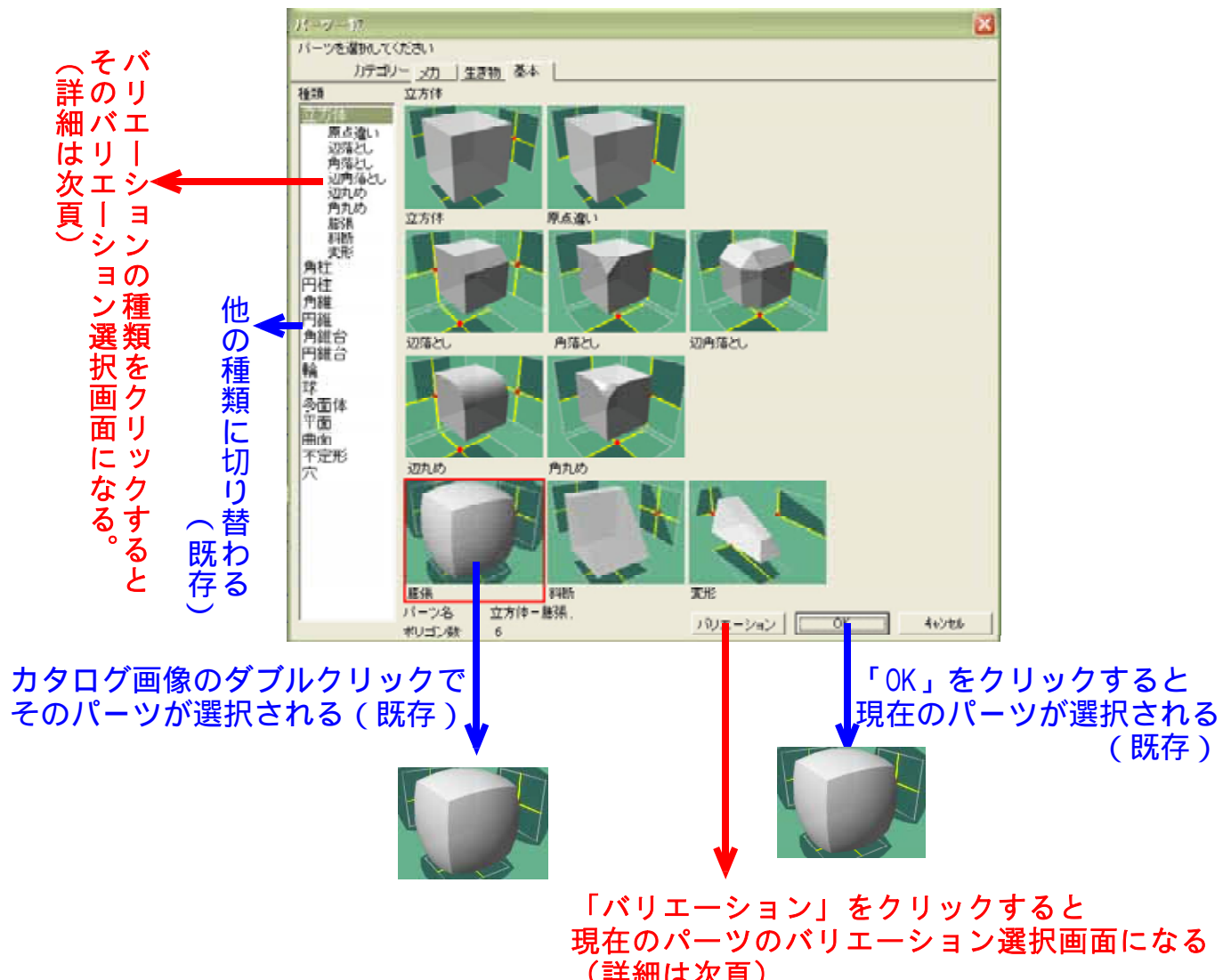


基礎パーツ選択画面

- ・従来と外観も操作方法もほとんど変わらない。違いは以下の3点。
- ・1) 4 × 4 の16パーツぎっしり並べるのをやめる。(平均8パーツ程度)
できるだけわかりやすく分類して表示する。
その「種類」の代表的なパーツだけ表示され、各パーツの細かいバリエーションは表示されない。(それはバリエーション選択画面(仮)) (詳細は次頁)
- ・2) 「種類」の表示が階層化される。2階層で、これ以上深くしない。
この下の階層部分をクリックすると、そのバリエーション選択画面になる。
- ・3) 画面下部(「OK」ボタンの横)に、「バリエーション」ボタンを設ける。
これをクリックすると、現在選択されているパーツのバリエーション選択画面になる。

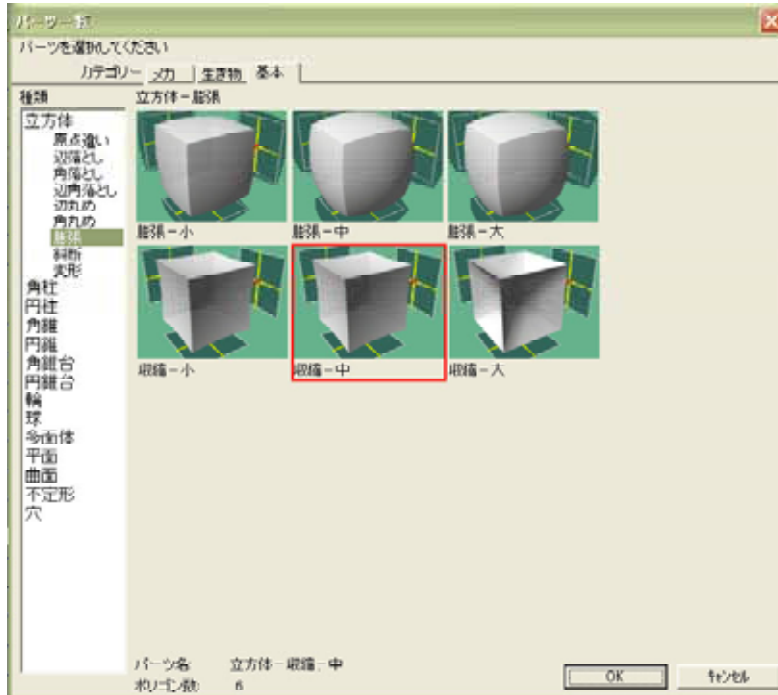


全パーツにバリエーション選択画面があるとは限らない。上図では、「立方体」にはない。その場合、「バリエーション」ボタンは灰色(無効表示)になる。

「種類」のバリエーションと現在表示されるパーツ数、パーツ名はだいたい一致する。ただ、上記のように「立方体」はバリエーションの種類に表示されない。

パリエーション選択画面

- ・基本的には従来の基礎パーツ選択画面と同じ。違いも、上記の基礎パーツ選択画面とほぼ同じ。



- ・ 1) 4 × 4 の16パーツぎっしり並べるのをやめる。
基本的には、横方向にはバリエーションの強さ、例えば「角丸め」なら、丸める量の違いを3つ並べる。左から小、中、大。
縦方向には、タイプを並べる。例えば「角丸め」なら、「一角丸め」と「全角丸め」とか。
- ・ 2) 「種類」の表示が階層化される。
これは、基礎パーツ選択画面で説明した通り。
ここをクリックすることで、他の種類や他のバリエーションに切り替わる。
- ・ 「バリエーションボタン」はないので、操作は従来と全く同じになる。

以上